

第105回完ナビ 訂正表

※ が訂正箇所になります。

ページ		
P191	訂正前	問186 設問4 本症の治療薬として、ゴセレリン酢酸塩やブセレリン酢酸塩、ナファレリン酢酸塩などの GnRH アゴニスト が用いられる。GnRH アゴニストは、性腺刺激ホルモン放出ホルモン（GnRH）受容体を繰り返し刺激することで、GnRH 受容体数の減少（down regulation）を引き起こす。その結果、GnRH の作用を減弱させることで、ゴナドトロピン（性腺刺激ホルモン）の分泌を抑え、本症の発症に関与するエストロゲン分泌を抑制する。
	訂正後	問186 設問4 本症の治療薬として、ゴセレリン酢酸塩やブセレリン酢酸塩、ナファレリン酢酸塩などの GnRH アゴニスト が用いられる。GnRH アゴニストは、性腺刺激ホルモン放出ホルモン（GnRH）受容体を繰り返し刺激することで、GnRH 受容体数の減少（down regulation）を引き起こす。その結果、GnRH の作用を減弱させることで、ゴナドトロピン（性腺刺激ホルモン）の分泌を抑え、本症の発症に関与するエストロゲン分泌を抑制する。 ※第 105 回薬剤師国家試験実施時は、子宮内膜症に適用される GnRH アンタゴニストはなかったが、2025 年 7 月現在、GnRH アンタゴニストであるエラゴリクスやレルゴリクスが子宮内膜症の治療に用いられている。